

2021年11月18日

主教 ヨハネ 吉田 雅人

東北教区における 主日礼拝ならびに教区宣教活動のための指針 (No.8-2)

2021年4月16日付けで配布した「指針 (No.8)」の一部を以下の通り修正します。
この修正は2021年降臨節第1主日(11月28日)より実施してください。

1. 公開の礼拝や教会活動を行うにあたって

③ 礼拝(ことに聖餐式)の実施方法など

* 感染拡大が終息するまで、司式者のみ二種陪餐とし、他の礼拝奉仕者と会衆は一種陪餐を厳守してください。

⇒全国的に感染者数が減少傾向にあることを受けて、陪餐方法を司式者・礼拝奉仕者・会衆ともに二種陪餐に戻します。これは2020年5月28日付けの指針3頁に、

初代教会以来、信徒も兩種を拝領していましたが、ローマ・カトリック教会では実際的な種々の理由によって、12世紀以降「一種陪餐」が普通になりました。

聖公会では16世紀の宗教改革以来、パンとぶどう酒を拝領する「二種陪餐」を原則としています。…

尚、感染拡大が終息しましたら、「二種陪餐」の原則に戻します。

と記していたとおりです。

しかし未だ感染が完全に終息したとは言えない状況に鑑み、当面の間「過渡的対応」として、聖杯から直接いただくのではなく、司式聖職も会衆も「インティンクション」とします。

インティンクションの方法は、(1) 司式者から聖体を受け取った陪餐者が直接聖杯に浸していただく方法と、(2) 司式者がぶどう酒に浸した聖体を陪餐者がいただく方法がありますが、その方法については各教会で選択の上、会衆の皆さんに周知徹底して下さい。

ことに陪餐者が直接聖杯に浸していただく場合は、以下にご留意ください。

- ① 聖杯内のぶどう酒は少なめにしてください(指が触れないように配慮)。
- ② 聖体の一部をぶどう酒に軽く、ほんの少しだけ浸してください。
- ③ その後あわてず、しかし素早くいただいでください。



2. 教会活動等

- ① 感染拡大が終息するまで、礼拝後の茶話会・愛餐会・その他の食事等の供与は中止してください。これについては主教巡回日も同様です。

⇒感染が終息するまで、今年の降誕日も含む当分の間、茶話会・愛餐会は行わないでください。